

事業所名 グループホーム 長楽園

日付 平成 19年 12月 21日

評価機関名 有限会社 アウルメディカルサービス

評価調査員: 薬剤師・介護支援専門員

介護経験歴7年

[自主評価結果を見る](#) (工事中)

[評価項目の内容を見る](#)

[事業者のコメントを見る\(改善状況のコメントがあります!\)](#)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)
(記述式)

昨年と比べて入居者に対する接し方は徐々に良くなっているようです。入居者の家族との会話も増えていて、家族からの要望や意見も聞き入れる体制も徐々に増えているようです。様々な意見をグループホームに取り入れていることで家族の満足度は高くなっているようです。また今までに実施していたユニットごとの体操をグループホーム全体で行うようにしてから、ホーム全体に活気が出てきているようです。リハビリもより効果的に行うためにホーム独自の砂袋を用いているので、機能改善にも一役買っています。

言葉かけの必要性がスタッフに理解できるようになったことで入居者への対応ができて、入居者の表情に深みが出てきました。スタッフは新しい試みを少しずつ模索しながら行動に移しているようです。

特に改善の余地があると思われる点(記述式)

昨年いた職員は少なく、職員の定着率が低いようです。職員が目の細かい仕事の消化に追われているように感じました。スタッフはよく働いていますが、全体として介護の仕方に一貫性が見受けられないように感じました。個々のミーティング等の話し合いを設けたり、全体の会議などを通して職員間のコミュニケーションを図ったりして、職員のレベルアップを目指して欲しいと思います。

入居者全体に介護度が重くなり、個別の対応が多くなってきたため職員は仕事に追われ、入居者と接する時間が多少なり少なくなっているようです。入居者が大きな声を出したり、不穏な行動をしたりすることも多いので、スタッフはゆっくりと話を聞いてあげる時間を作ると入居者ももっと安心する施設になると思います。

2. 評価結果(詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	個別的にゆったりと、その人らしく時間が流れていくことを目指し、人生の最後に良かったと思ってもらいたいと願っています。また入居者には出来るだけ自由に生活してもらいたいと考えています。やりがいや生きがいになればという思いから、入居者個々にプランタンへ花や野菜を植えてもらっています。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	自宅で困っていることを家族から聞くことで、精神的負担を軽くし、安心してもらえると考えています。入居者の気を紛らわし、グループホームにいても良いと思ってもらえるように、毎日言葉かけをすることで入居者の表情が変わってきます。また帰宅願望があれば、入居者の家族にあらかじめお願いして、電話をかけさせてもらったりしています。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	入居者にもプライドがあるので、トイレや入浴など他の入居者に見えないように気配りをしています。失禁時は特に注意をしています。またパッド交換の時も回りに気づかれないように心がけています。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	問題があれば原因を追究し、職員全員で対応しています。管理者は職員のレベルアップを目指すために勉強会等を行っています。その会では誤嚥などの対応の仕方、転倒の危険回避、入居者の見守り等を問題提起し、安全強化に取り組んでいます。		